

令和3年度 葛尾村立葛尾小学校だより



ま ず な

令和3年4月9日 NO.2
葛尾小学校長 伊藤 恒明

重点目標 Let's try! 自分の力で レベルアップ!!

<http://www.katsurao.org/site/es>

<令和3年度重点目標>

Let's try
自分の力で レベルアップ!!

令和3年度の重点目標を「Let's try 自分の力で レベルアップ!!」としました。

これは、少人数で学んでいる本校児童のさらなる成長を図るために、昨年度の成果や課題を踏まえ、全教職員で協議して決定したものです。今回はこのことについて、詳しくお話しします。

重点目標に示しました「自分の力でレベルアップ」を図るために、今年度は具体的に以下の取組を強化していきます。

1 「自己決定の場」を意図的に設定していきます。

昨年度、授業を含めた児童の様々な活動を見てきましたが、迷ってしまうと必ず先生の顔を見て、助けを求めたり判断を仰いだりする場面が多いと感じました。失敗しないためには大切なことかもしれませんが、常に先生や大人が近くにいるわけではありませんし、児童に本当の力がついていとは言えません。自分の力で判断したり、行動したりできるようになるまでには時間がかかると思われれますが、その過程が重要であり、それがとても大切な学びであると考えます。

2 「成長を促す指導」を行います。

自分で考えたり判断したりする力を養うために、教員は必要以上に言葉かけをせず、児童がじっくり課題に向き合い、考える時間を確保します。その時、児童が試行錯誤して導き出した答えは、たとえ間違いであったとしても、そこからの学びは有効であると考えます。

※ 裏面に令和3年度の葛尾小学校学校経営・運営ビジョンを掲載しましたので、ご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策について

現在の福島県内の感染状況を踏まえると、いつ自分が感染者や濃厚接触者になるかわからない状況と言えます。現在、学校では、『新しい生活様式』を踏まえた学校の行動基準のレベルが「1」なのか「2」なのか等に関わらず、児童の体調に加え、同居家族の皆様の体調も確認させていただいております。保護者の皆様には、毎日のことでご負担をおかけすることになりますが、万が一のことを想定した対策の一つでありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症等において、質問や心配なことがございましたら校長までご連絡ください。具体的には、児童本人や同居家族の方が濃厚接触者になる可能性があると感じた時点から、学校としても対応が必要になってきますので、そのような状況になった場合には、至急ご連絡ください。休日や夜間等の連絡先については、児童を通じてお知らせいたします。どうぞ、よろしく申し上げます。

令和3年度 葛尾村立葛尾小学校学校経営・運営ビジョン ～「郷育・共育・協育」を大切に～

《学校の実態》

- 平成23年3月の東日本大震災及び原発事故による避難生活と平成25年4月からの三春町(旧栗田)での学校再開5年を経て、平成30年4月から葛尾村での学校再開を果たした。
- 今年度の全校児童は8名で、完全模式の3学級編制である。
- 明るく素直だが、極少人数ということもあり、社会性や集団活動が不足しがちである。また、常に大人の目が行き届いており、自主性や主体性、たくまさが育ちにくい面がある。
- 保護者や地域は非常に協力的であり、常に温かく子どもたちを見守っている。

教育目標

- よく考える子ども
- 思いやりのある子ども
- 健康でたくましい子ども



《葛尾村教育基本理念》

子どもからお年寄りまで、村民みんなが生き生きと学び、輝く葛尾村の教育 ～4つの愛(出愛・ふれ愛・助け愛・学び愛)がある葛尾村～

《葛尾村教育目標》

- 心優しく、たくましく生きる児童生徒、人間の育成
- 出会いとふれあい、思いやりのある地域社会の実現
- 心豊かで、生きがいのある社会の実現



《学校経営方針》

「魅力ある学校づくり」の推進 → 児童、保護者、地域、教職員の思いや願いが叶う学校づくりを推進する。

- 個に応じた教育を充実させ、一人一人に確かな学力を身に付けさせるとともに、心豊かで心身ともにたくましい児童を育成する。
- 幼小中や他校との交流、連携した取組を積極的に行い、学びに連続性をもちせるとともに、社会性の涵養や多様な考えに触れる機会の確保等に努める。
- 「**地域と共にある学校づくり**」の推進 → ふるさとから学び、ふるさとを愛し、地域と共に生きようとする児童を育成する。
- 地域資源を積極的に活用するとともに、各種団体や施設等を含めた地域の人々との交流を推進する。
- 葛尾村の人々との交流を深めたり、自然、文化、歴史、伝統等について学習したりすることを通して、ふるさとを大切にしようとする心情を養う。

重点目標

Let's try! 自分の力で レベルアップ!!

◎努力事項・具体的実践事項

<よく考える子ども→思考力・判断力・表現力の育成>

- ◎ 個に徹した指導の充実
 - ・ 極少人数による効果的な授業等の実践・評価・改善
 - ・ 自己決定の場と成長を促す指導の充実
 - ・ ICT機器の積極的な活用
- ◎ 探究的な学習の推進
 - ・ ふるさと創造学(生活科、総合的な学習の時間)の充実
 - ・ 地域資源(ひと・もの・こと)の積極的な活用
 - ・ 持続可能な社会の担い手の育成(SDGsへの取組)
- ◎ 幼小中や他校との交流の推進
 - ・ 学びの連続性を意識した教育活動の展開と交流の推進
 - ・ 社会性の涵養や多様な考えに触れる機会の確保

<思いやりのある子ども→共感力の育成>

- ◎ 積極的な生徒指導の推進
 - ・ 認め合える場の設定による共感的人間関係の形成
 - ・ 各種アンケートによる実態把握やSC等との連携
 - ・ 良さの伸長による自己肯定感の醸成
 - ・ 地域の方々との交流(老人会、婦人会、各種施設等)
- ◎ 道徳教育の充実
 - ・ 異学年合同授業や「考える道徳」の充実
 - ・ 授業参観等における授業公開
- ◎ 個に応じたあてでの設定と積極的な支援(キャリア教育を意識した取組の充実※指導評価計画の活用)

<健康でたくましい子ども→体力向上と心身の健康保持>

- ◎ 体力・運動能力の向上
 - ・ 外遊びの奨励と教科外体育(業間体育)の充実
 - ・ 他校との合同授業の実施(川内小、富岡小、なみえ創成小、都路小、緑小等)
- ◎ 読書活動、体験活動の充実
 - ・ 読書活動の推進と読書習慣の確立
 - ・ 自然、社会、ボランティア体験の推進(遠足、宿泊学習、修学旅行等)
- ◎ 健康・安全教育の充実
 - ・ 養護教諭、栄養技師とのT・Tの授業
 - ・ 安全意識の高揚(放射線、自然災害、薬物乱用防止等)

情報発信

- ・ 各種たより
- ・ ホームページ
- ・ メール配信
- ・ 連絡帳

家庭や地域との連携

- ・ 早寝、早起き、朝ご飯(基本的な生活習慣) ・ 手伝いの奨励
- ・ 家庭学習スタンダードの活用 ・ 学校評価アンケート ・ PTA活動
- ・ 各種行事での連携(村民運動会、スクールフェスタ等)
- ・ 放課後スィミング教室(毎週火曜日) ・ SNSの安全な利用

目指す教師像

- ・ 使命感に燃える教師
- ・ 自己省察できる教師
- ・ 児童の良さを引き出す教師
- ・ 児童と共に育つ教師
- ・ 研修と修業に努める教師

相双教育アピール

新しい学びのかたちを相双から「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実「主体的・対話的な学び」から「深い学び」を実現